

# 道路行政セミナー2013年9月号 NO.060 2013年9月26日発行 ポイント

## ◇◆特集◆◇

### ★平成26年度道路関係予算概算要求概要★

(国土交通省 道路局 総務課)

平成26年度道路関係予算概算要求の概要について報告する。

## ◇◆道路法令Q&A◆◇

### ★「道路法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の 整備に関する政令」について★

(国土交通省 道路局 路政課)

「道路法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令」について解説する。

## ◇◆TOPICS◆◇

### ★市民の日イベント「まちなか探検隊」の実施について★

(岡山市 都市計画課)

本市では、岡山市都市ビジョン [新・岡山市総合計画] に掲げた目指す都市像「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」や、「岡山市都市計画マスタープラン」の都市づくりの目標である「水と緑にあふれた安全で暮らしやすい都市づくり」の実現に向けて都市づくりを進めているところです。

今回は、その取り組みの一環であり、平成24年、25年の「岡山市民の日」(市制施行日である6月1日) イベントとして開催した“まちなか探検隊”について紹介をさせていただきます。

---

## ◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

---

### ★宮城県仙台南部道路の移管について★

(東北地方整備局 道路部 路政課)

宮城県道路公社が管理する仙台南部道路について、仙台都市圏高速環状ネットワークの一元管理による、均一な料金体系の実現、ETC割引による料金サービスなど、道路利用者のさらなる利便性の向上のため、平成25年7月1日をもって東日本高速道路株式会社へ移管されることになりました。本稿では、移管手法等について報告します。

.....

### ★交通事故ワーストからの脱却をめざして★

(香川県 土木部 道路課)

香川県では、近年、交通事故が多発しており、人口当たりの交通事故死者数が全国ワースト1位となるなど、危機的な状況にあります。香川県の交通事故の特徴を踏まえた、交通事故抑止対策の取組みについて報告します。

.....

### ★高松市の道路管理★

～ボランティアの手で身近な道をきれいに、「たかまつマイロード」～

(高松市 都市整備局 道路課)

道路の維持管理については、常に安全・安心な状態や、美しい道路環境の確保が求められており、道路管理者として定期的に清掃を行っていますが、十分とはいえません。このため、市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで道路環境の美化を推進する「たかまつマイロード」事業に取り組んでおり、今回はこの活動について御紹介させていただきます。

## ◆◆編集後記◆◆

2020年夏。第32回オリンピック競技大会が、1964年以来56年ぶりに東京で開催されることが決定しました。アテネ、パリ、ロサンゼルスと並び2回目となります。7月24日の開会式から始まり8月9日までの17日間、世界のトップアスリートによる熱き戦いが繰り広げられることとなりました。

2020年の東京オリンピックでは、中央区・晴海に建設が予定されている選手村を中心として、都内の31競技会場のうち射撃など一部を除いた28競技会場が、半径8km圏内に配置されます。これは、アスリートが最高の状態で競技ができるような配慮であり、選手村には、レジャー施設やショッピング街なども設けられる予定です。また、訪れる人にとっては、競技だけでなく、東京という街を心から楽しめる空間の演出がされるようです。

開催地を決める最終プレゼンテーション。中でもフランス語で行われたプレゼンテーションでは、日本における“おもてなし”の心を「O・MO・TE・NA・SHI」という表現で紹介し、注目されました。

“もてなし”は「持って成す」を語源とし、心から歓迎する気持ちを持って、丁寧にお迎えを成すという意味をもちます。例えば、日本の伝統文化である茶道の世界では、茶室までの道を綺麗に清掃するだけでなく、迎える茶室の床の間には、客人の嗜好に合わせた掛け軸や、季節の花を飾ります。このようにして、客人が心地よく寛げるよう、気遣いや思いやりの心を持ち、心のこもった“おもてなし”がされます。

このような“おもてなし”の心を、外国語に訳すことなく表現したことで、国際オリンピック委員の心に強く印象に残ったようです。

また、一方で、諸外国では、日本のサービススタッフの丁寧な対応や、正確に運行される公共交通機関、清掃と管理が行き届いた道路とその街並み、また、困難な状況においても、助け合い、相手に対する気遣いや思いやりから生じる秩序ある行動が高く評価されています。

7年後に開催される東京オリンピック。国内外より多くの人々が東京を訪れることが予想され、様々な形での“おもてなし”が考えられます。ささやかですが、会場までの道を尋ねられたら、目印を交えながら道案内ができるようになるなど、自分なりの“おもてなし”を少しずつ考えていきたいと思います。(K)